

世界で唯一、途上国の水問題に対して活動を続ける草の根団体を顕彰 「第5回京都世界水大賞」募集開始のお知らせ

特定非営利活動法人 日本水フォーラムは、世界水会議^(注1)と共催で、「第5回京都世界水大賞」を下記概要の通り実施致します。「京都世界水大賞」は、世界で唯一^(注2)、途上国の水問題に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する、国際的な賞です。

記

1. 第5回京都世界水大賞の概要

- (1) 主催：日本水フォーラム 及び 世界水会議
- (2) 賞の目的：途上国で水問題解決に尽力する非営利団体を称え、水と衛生の問題解決に貢献
(途上国で水問題解決に向けて優れた活動を続ける草の根団体を称える、唯一の国際的な賞)
- (3) 賞金：200万円^(注3)
- (4) 応募条件：
 - ・ 開発途上国生え抜きの非営利団体
 - ・ 水問題解決に向けて優れた草の根活動の実績を有すること
 - ・ 大賞賞金により実施したいプロジェクトの企画を応募する
- (5) 募集期間：2017年8月1日 募集開始、2017年9月29日募集〆切
- (6) 授賞式：2018年3月の「第8回世界水フォーラム」^(注4)で実施予定

注1：世界の水分野の専門家や国際機関の主導のもと1996年に設立された民間シンクタンク。本部はフランスマルセイユ

注2：日本水フォーラム調べ

注3：日本の企業団体等を対象に協賛金を募集中（募集期間6月30日～9月29日）

注4：世界水会議によって運営され、3年に一度開催されている、水問題を扱う世界最大級の国際会議。

第8回が2018年3月にブラジルで開催予定

2. 京都世界水大賞とは？

- 2003年の第3回世界水フォーラム（日本開催）を契機に、京都市と世界水会議が、国際的な賞として設立
- その後、3年に一度開催される世界水フォーラムに併せて、優れた草の根活動を続ける非営利団体を表彰
- 2015年の第4回京都世界水大賞からは、日本水フォーラムが京都市から継承し、実施

(写真) 第4回京都世界水大賞授賞式 2015年4月17日、
第7回世界水フォーラム閉会式にて開催（韓国・大邱）

右から、(株)島津製作所中本晃社長（当時）、大賞受賞者 ENPHO 代表（ネパール）、日本水フォーラム竹村



京都世界水大賞とは

□経緯

・途上国で水問題解決のための草の根活動に取り組む非営利団体から、特に優れ、他の模範となる活動を行う団体を表彰する、国際的な唯一の賞です。

・2003年、第3回世界水フォーラムが日本（琵琶湖・淀川流域）で開催されたことを契機に、京都市と世界水会議により創設されました。以来、3年に一度開催される、世界水フォーラムに併せて、実施されています。

・2015年に実施された、第4回京都世界水大賞からは、京都市から継承した日本水フォーラムと、世界水会議との共催により実施しています。

□審査方法

・優れた活動実績を有する団体に、受賞賞金で実施したいプロジェクトの企画を応募いただきます。審査は、主催者それぞれ2名ずつ、計4名の審査員が、実施規程に基づく加点方式により審査します。審査員の合計点数最多団体が、大賞となります。

□歴代受賞団体・プロジェクト

第1回 2006年 Gram Vikas (インド)

「インド・オリッサ地域における農業用水と衛生の、地域社会主導による管理、及び、それらを通じた人間としての尊厳の構築」プロジェクト。応募総数約1,600団体の中から選出。授賞式：第4回世界水フォーラム・メキシコ

第2回 2009年 Watershed Organization Trust (インド)

インド・マハーラーシュトラ州の不毛地域で、村民に水と土壌保全の技術トレーニングを行うプロジェクト。この活動により、村落での、農業生産の拡大、収入増加、住環境改善、女性の労働時間軽減、女兒就学率向上等の成果があった。応募総数68団体の中から選出。授賞式：第5回世界水フォーラム・トルコ

第3回 2012年 Katosi Women Development Trust (ウガンダ)

ウガンダ南部（ビクトリア湖北部）、ムコノ県の貧困地域の生活水準改善を目的に、20年以上に亘り活動する婦人団体の組合が受賞団体。地域の女性たちが、学校、家庭、地域コミュニティにおいて、雨水貯留施設やトイレの管理を行うプロジェクト。応募総数225団体の中から選出。授賞式：第6回世界水フォーラム・フランス

第4回 2015年 Environment and Public Health Organization ; ENPHO (ネパール)

環境に配慮した社会の創造をビジョンに掲げ、環境と公衆衛生の分野において適正な技術の開発と促進を目指した活動を行う、政府認定の研究所も有する団体。エコサントイレや雨水貯留タンク、バイオサンドフィルター等の技術普及促進に取り組むプロジェクト。応募総数110団体の中から選出。授賞式：第7回世界水フォーラム・韓国

□第4回京都水大賞受賞「よりよい学習のための小学校支援プロジェクト」の概要

・実施地：ネパール連邦民主共和国、ベリ県、スルケット郡ビレンドラナガル市内の小中学校11校。安全な水と衛生においてネパールでも課題が深刻な地域である。安全な水と衛生に関する設備の普及率は、他のどの区域よりも低く、また、5歳未満の子どもの下痢症罹患率も最も深刻である。

・受益者数：児童・生徒 4,250 人、教師 240 人（間接受益者数：地域住民 10,000 人）

・実施期間：2015年5月～2016年6月

授賞式翌週の、2015年4月25日、ネパールは大地震に見舞われた。日本水フォーラムは、震災直後から、受賞団体である ENPHO と緊密な連絡を図り、震災復興活動に奔走する ENPHO を支え、プロジェクトは着実に実施された。



ネパール連邦民主共和国



ベリ県



修繕が必要なトイレ



建設したトイレ



教師、郡や市役所の担当者、記者等を招いて実施した、水と衛生・学校での行動改善に関するワークショップ